

みずほCustomer Desk Report 2017/05/11号(As of 2017/05/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.88 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.71	1.0887	123.78	1.0069	1.2948	0.7341
SYD-NY High	114.38	1.0898	124.31	1.0095	1.2988	0.7395
SYD-NY Low	113.63	1.0854	123.50	1.0048	1.2928	0.7339
NY 5:00 PM	114.28	1.0868	124.19	1.0089	1.2940	0.7368
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.065/8.415		△25RR	0.403	Yen Call Over	

NY DOW	20,943.11	▲ 32.67	債券市場	日本2年債	-0.1770	0.4bp
NASDAQ	6,129.14	8.56		日本10年債	0.0420	0.2bp
S&P	2,399.63	2.71		米国2年債	1.3548	1.4bp
日経平均	19,900.09	57.09		米国5年債	1.9379	1.5bp
TOPIX	1,585.19	3.42		米国10年債	2.4141	1.6bp
シカゴ日経先物	19,965.00	5.00	為替市況	独10年債	0.4220	▲0.8bp
ロンドンFT	7,385.24	43.03		英10年債	1.1660	▲3.6bp
DAX	12,757.46	8.34		豪10年債	2.6560	▲2.6bp
ハンセン指数	25,015.42	126.39		USD/CNH	6.9134	▲0.0019
上海総合	3,052.79	▲27.74		ドルインデックス	99.67	0.01
USDJPY 3M Vol	8.66	▲0.00%	商品市況	CRB指数	179.509	2.22
USDJPY 6M Vol	9.02	0.06%		NY金	1,218.90	2.80
EURJPY 3M Vol	9.08	0.04%		WTI	47.33	1.45
EURJPY 6M Vol	9.40	0.15%		Dubai Spot	48.06	▲0.28

東京	ドル円はロニー時間に114.05をつけたものの、その後は113円台後半まで小緩んで推移。東京時間オープン前に発表された日銀4月会合における主な意見では、「国債買入ペースをさらに縮小しないと、来年にかけて買入の持続性、安定性は確保できない」等の意見が見られたものの市場の反応は限定的。斯かる中、東京時間のドル円は113.711レベルでオープン。黒田日銀総裁が衆院財務金融委員会で、これまでは時期尚早としていた金融緩和政策の出口戦略に関して発言。「出口の際に実際に収益がどうなるかは、将来の経済・物価・金利環境に加え、どのような手段でやっていくかにもよる」「(具体的なシミュレーションを示すことは)議論を混乱させる恐れがあり慎重に検討したい」とした上で「金融政策が日銀の財務面に及ぼす影響を含め、分かりやすく説明していくことは非常に重要」と述べ、「(公表を)今後検討していきたい」と語ったドル円は五・十日とあって本邦実需勢によるドル買いも意識される中、じり高に推移し東京時間高値113.94をつけた。午後に入ると113.65まで円高が進行する局面があったものの明確な方向感がでることはなく、ドル円は113円台後半で揉み合い推移。結局、ドル円は113.85レベルで海外に渡った。(東京15:30)
	ドル円は113.85レベルでオープン。朝方は米金利の上昇に相俟って114.00を抜けロンドン時間高値114.13をつける。しかし、トランプ米大統領がミッドバイ長官解任との報道を受けて米政治的混乱が懸念される中、上値は押さえられた。その後は新規材料難に113円台後半で小動きとなり113.81レベルでニューヨークへ渡った。ロンドンドルは1.2981レベルでオープン。11日(木)発表されるBOEインフレレポートにてインフレ見通しが上方修正されるとの見方も出る中、上値を試す動きとなり高値1.2988をつける。しかし、ポジション調整の売りも意識されて1.3000の大口を上抜けするには至らなかった。結局、ロンドンドルは1.2954レベルにてニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は113.81レベルでNYオープン。朝方発表された4月輸入物価指数(前月比)は予想を上回ったが、市場の反応は限定的。その後、EIA週間在庫統計において米国の原油在庫が年初来で最大の減少幅となったことを受け、供給過剰懸念が後退したことからWTI原油価格は急騰し今年最大の上げを記録。これを好感し、安寄りして軟調に推移していた米株が下げ幅を急速に縮小すると、ドル円も114.16まで上昇。屋過ぎにローゼン格林・ホスト連銀総裁による「年内残り3回の利上げが適切」との効派的な発言が伝わったことや、午後1時に行われた米10年債入札が弱い結果となったことから、米長期金利が再び2.40%台に上昇するとドル円は前日高値114.32を上抜け、日中高値114.38まで上昇。その後も114円台前半での底堅い推移となり、114.28レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.0877レベルでオープン。朝方はドラギ・ECB総裁の「ユーロ圏経済の景気は大幅に改善した」との発言を受けて1.0883まで上昇したが、同時に「景気に刺激を与える同中銀の取り組みはまだ終わっていない」との認識を示したことからは上値は限定的となった。その後はローゼン格林・ホスト連銀総裁の上記発言や米10年債入札後の米金利上昇を背景とするドル買いの流れに1.0854まで下落し、1.0868レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月10日	08:50	日 日銀金融政策決定会合(4/26-27)における主な意見	-	-
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	4月 1.2%/6.4%	1.1%/6.7%
	20:00	欧 ドラギ・ECB総裁 講演	-	-
5月11日	21:30	米 輸入物価指数(前月比)	4月 0.5%	0.1%
	01:45	米 ローゼン格林・ホスト連銀総裁 講演	-	-
	02:20	米 カシウカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

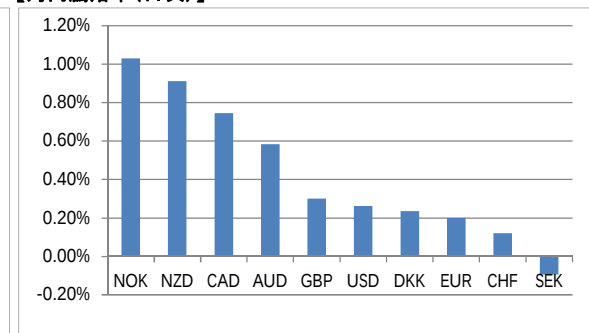
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月11日	08:50	日 貿易収支/経常収支	3月 ¥855.0B/¥2,593.0B	¥1,076.8B/¥2,813.6B
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -0.4%/2.0%	-0.7%/2.8%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	3月 -0.2%/3.0%	-0.1%/3.3%
	19:25	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
	20:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	-	0.250%
	20:30	英 カーニー・BOE総裁 講演	-	-
	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.2%	-0.1%/2.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	245K
				238K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.50	1.0800-1.0900	123.50-124.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場は、欧州株軟調スタートで米金利もじり安の展開にドル円は113円後半まで下落。しかし、米輸入物価指数が市場予想を上回る数字に114円台を回復。その後発表された米エネルギー情報局週間在庫統計は原油のみならず留油・ガソリンも市場予想以上の減少に原油価格が上昇、米株がエネルギー関連株を中心に前日比マイナス幅を縮小の動きとなり、ローゼン格林氏のタカ派発言も後押しで114円35近辺まで続伸。本日は、依然高値圏推移のドル円も節目となる115円を前に相応の利益確定の売りも出てくると考えられ、底堅いながらも上値は限定的と予想する。